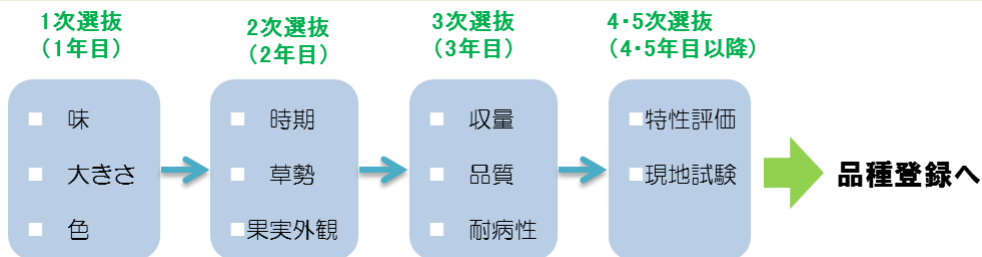


# イチゴ新品種 ‘あまりん※’ の育成

埼玉県では、都市圏に近い立地を生かした観光・直売のイチゴ経営が増加しています。そこでは、多彩なイチゴ品種が楽しめます。しかし、他県育成の品種で構成され、埼玉県独自の品種が無いことから、特徴あるイチゴの地域ブランド品種の要望がありました。

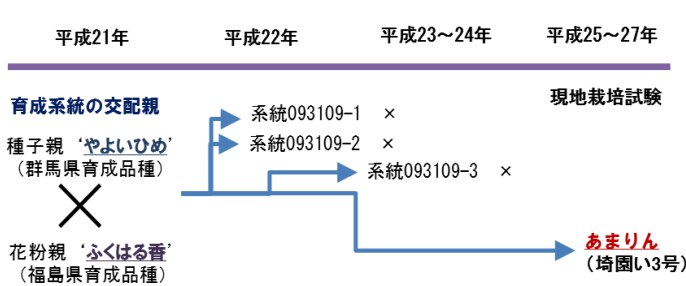
そこで、観光・直売に対応可能な高糖度・優良外観（果形、果皮色、光沢）等の優れた形質を持つ品種の育成に向け、平成 21 年から交雑・選抜を重ねてきました。その中で目標に沿った‘あまりん（埼園い3号）’を育成し、品種登録出願しました。

※ ‘あまりん’ は愛称です。



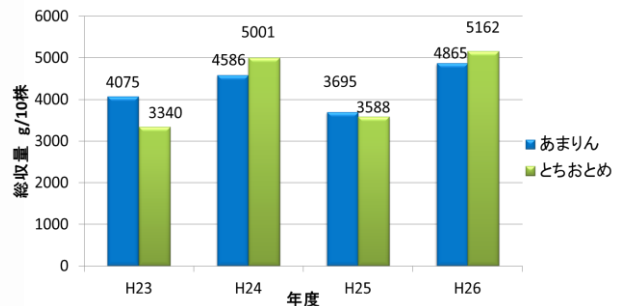
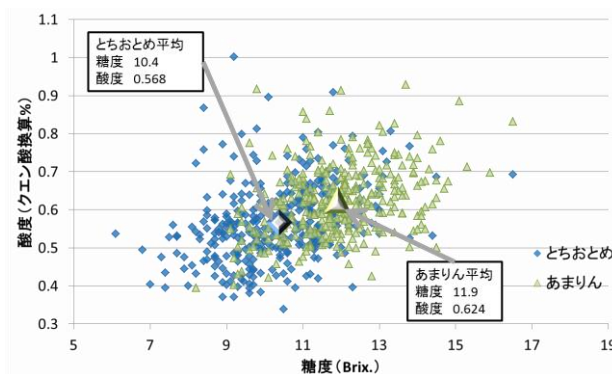
## ●品種の育成手順

甘く‘大きく’‘硬さ’があり、‘たくさん取れる’‘病気に強い’品種を目標にしました。



## ●あまりん（埼園い3号）育成経過図

糖度が高くさわやかな味が特徴の良食味品種です。ランナーの発生が少ないなど、省力的です。観光・直売向け品種として平成 28 年 8 月に出願公表されました。



## ●糖度・酸度散布図

‘あまりん’の糖度は‘とちおとめ’を上回っています。

## ●収量性（総収量）

‘とちおとめ’と同程度の収量が見込めます。

(品種開発・ブランド育成研究担当 TEL 048-536-0311)